

- 1 日時場所 平成30年8月30日(木)9時30分開会
南魚沼市役所大和庁舎 第一会議室
- 2 出席者
委員：南雲権治教育長、西野仁委員、今井晶子委員、角谷正雄委員、川島亜紀子委員
事務局：平賀教育部長、山崎学校教育課長、佐藤社会教育課長、長谷川生涯スポーツ課長、阿部子ども・若者育成支援センター長、笛木管理指導主事、田中管理指導主事、田村指導主事、種村嘱託指導主事、岡村嘱託指導主事、佐藤学校庶務主幹、貝瀬施設主幹、学校指導係 渡辺、学校庶務班 島田
- 3 議題
日程第1 **会議録署名委員の指名について**
西野 仁委員、川島 亜紀子委員

日程第2 **教育長及び事務局諸報告**
(指導係渡辺) 7～8月の国際科関連事業について報告。
(学教課長) 中学生海外派遣について、来年7月のエルマイラ高校来日、8月の中学生派遣を以てこの事業はいったん終了。先方への意思確認のうえ、一区切りということでお互いが了承している。
(教育長) 教育長及び事務局諸報告について各担当より報告。

日程第3 **管理指導主事等からの報告**
(笛木管理) 小学校では、7月、夏休みと子どもたちの大きな問題等の報告は上がってきていない。
(田中管理) 中学校の夏期休暇中の報告について、軽い熱中症の報告が数件あったが、大きな事故等の報告はなかった。
(田村主事) 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について資料説明。
(今井委員) 部活動を減らしたという新聞記事を見た。子どもたちは活動が少なくなって力を出し切れなくなるという心配の声がある一方、先生方は多忙化が解消されるという意見もある。当市はその辺をどう考えているのか。
(田中管理) 3月から各校長と話し合い、国・県の指針に準じる形で部活動休止日を週2日(そのうち1日は土日)、活動時間も平日は2時間、夏休みを含めた休日は3時間程度で収まるようにということで申し合わせ、中体連も含めて取り組みを進めている。
(今井委員) 実際に実施できているのか。
(田中管理) 部活動が盛んな県央地区と比べると、南魚沼郡市はかなり取り組んでいる方かと思う。4中学校長の理解もあり、現状では比較的うまくいっていると思う。

道徳教育について

- (教育長) 今、国が、主体的・協働的に深い学びをとということを謳い、それを分かり易く進めるうえで、道徳はその一つの方法だと思う。学びについてのモデル的なやり方を道徳で出来るということで、それが他の教科に繋がっていくのではないか。この間、当市が取り組んできたことに対して、近隣の自治体からも岡村先生に依頼があったり、先生が計画する講演会に大勢来ている。南魚沼市だけでなく、お互いに勉強し合うという雰囲気を作れたことが、道徳に取り組んできた良さだと思う。

(岡村主事) 文科省から補助金をいただき、今年度市の道徳教育の推進事業を進めている。現場の先生方に研修の機会をたくさん作り、それを各学校で実践してほしいということで研修授業を計画的に取り入れている。(今年度実施の研修事業について資料説明)

課題は、研修を行ったあとに実際の授業をどう変えていけるかということ。今後、私自身が学校訪問を行い、実際の授業の中で具体的な支援をしていけたらと思う。いじめをなくす手がかりが道徳なんだということで、実際の授業を変えていく中で、誰もが幸せに暮らしていける学校や社会、地域づくりをしていければと思っている。また、幼児教育のつながりも考えながら、どういう心を育てるかということをしっかり進めていきたいと思う。

(角谷委員) 幼児教育・保育のあり方検討会でも、岡村先生から道徳教育についてお話いただき、幼児期の普段の生活の中で考えていることが道徳に繋がることが多いと再確認した。特に、いじめっぼくやられたときに、「嫌だ」と相手や別の誰かに対して発信できる環境を作ることが大事で、そういう関係がうまく出来ていくといじめは減っていくと思う。

(川島委員) いじめ防止だけでなく、自分の発言に自信がない子どもたちが多くなってきているので、道徳の授業を通して自分の意見を伝える、その意見を皆が聞いてくれるというその積み重ねが大事かと思う。

(今井委員) 教科書を見せてもらい、カラーユニバーサルデザインもそうだが、これが普通になり、いろんな教科にも浸透していく時代になったのだと感じた。あとはいかに先生方がそこに心を配っていただけるか。不自由感を持つ子どもたちにとっていい世の中になっていくために、その辺にも力を入れていただけたらと思う。

(岡村先生) さらに深く道徳を考えて、先を見ながら進めていきたいと思う。

(教育長) 他に質疑はありませんか。

(全 員) なし。

日程第4 **第27号議案 南魚沼市学齢児童生徒就学援助申請保護者の(追加)認定について**

(庶務主幹) 7月申請分就学援助申請保護者の認定について資料説明。

(教育長) 認定することに異議ありませんか。

(全 員) なし。

日程第5 **第9号報告 第一上田・第二上田統合小学校の開校日について**

(教育部長) 第一上田・第二上田統合小学校の開校日について資料説明。

2度の協議会を経て、平成32年4月の開校を目指すことでまとまった。校舎の選定については2回の協議でも決定に至らず、次回9/27の協議会で投票により決することで同意された。今後の補助金申請を考えると、ここで決まらなければ32年度開校は難しい。

(教育長) 校舎の位置が決まらずにというケースは初めてだが、9月議会に設計費を補正計上するために、本日教育委員会で説明させてもらった。国の補助金が来年度もらえるかどうかはまだ確定しておらず、国の補助金が1年遅れると開校が33年になってしまうということだが、その際は地元で頭を下げながら、今の時点で出来ることは粛々と進めていく。

(角谷委員) どちらの校舎の方が改修費用が少ないのか。

(教育部長) 概算見積もりで、どちらになっても同じくらいである。

(西野委員) 統合した後の学校の利用方法も併せて考えていけると理解も進むかと思う。

(教 育 長) 統合についてある程度の目途がついた時点で、企画政策課を中心に、地元を巻き込んでピッチを上げてその問題には取り組んでいかなければならない。

(教 育 長) 他に質疑はありませんか。

(全 員) なし。

日程第6 その他

(1) 子ども・若者育成支援センターの相談等状況について(7月分)

(センター長) 日程14ページ、7月分相談等状況について資料説明。

(教 育 長) 質疑はありませんか。

(全 員) なし。

(2) その他

①学校教育課工事進捗状況について

(施設主幹) 平成30年学校教育課工事進捗状況について説明。

(学教課長) 学校教育課事務室の移転について、10/6(土)～10/8(祝)の三連休で引越しをして、10/9(火)から市民会館事務室での業務を開始する。電話番号も変わるため、市報等で随時周知していく。

次回の教育委員会は、9月27日(木)9時30分から大和庁舎で開催する予定。

11時35分閉議閉会